

建築士が読み解くシリーズ <第4弾>

「特別史跡名古屋城跡木造天守整備基本計画(案)」を読み解く

建築士 渡邊正之

市政資料館 第4集会室

2023年5月20日(土) 14:00

どうする 名古屋城

“はたして「史実忠実な木造天守復元」と言えるのか”



建築士が読み解くシリーズ <第4弾>

「特別史跡名古屋城跡木造天守整備基本計画(案)」を読み解く

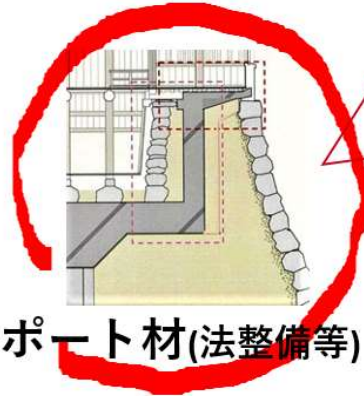
どうする
名古屋城

回答の全てが「**0点!!**」の謎。がこれ／現行法整備の併設を前提としたのでした。



史実忠実な木造天守

+



サポート材(法整備等)

「4項目検証」の指摘事項

- バリアフリーの不完全。
- 基礎構造解明及び決定は発掘調査頼りの先送り未定。
- 消防避難設備の不完全。
- 博物館機能の放棄(別棟博物館構想に転嫁)。
来場者拒否の建基法第3条の無責任な適用の不適切。

建築士が読み解くシリーズ <第4弾>

「特別史跡名古屋城跡木造天守整備基本計画(案)」を読み解く

迫られる選択の時!!。



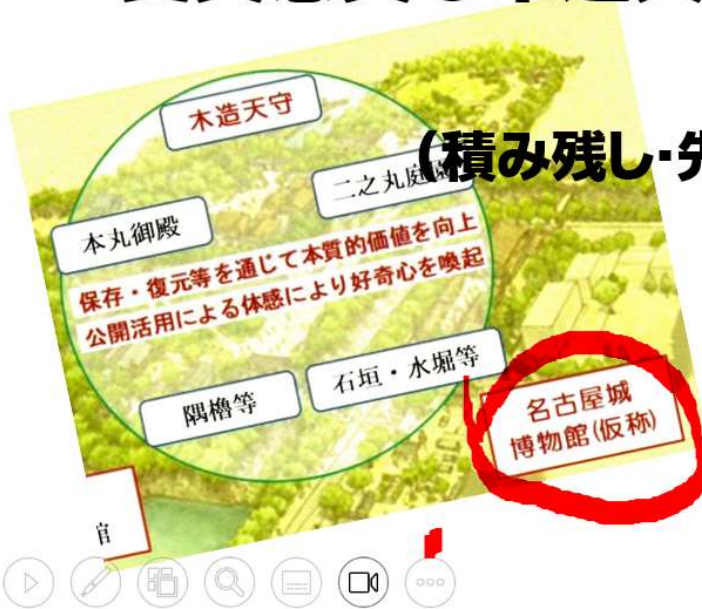
史実忠実な木造天守+別棟博物館

600億円

(積み残し・先送り事項多々あり)

現天守改修+おつり

50億円+(550億円)



どうする
名古屋城

建築士が読み解くシリーズ <第4弾>

「特別史跡名古屋城跡木造天守整備基本計画(案)」を読み解く



ここに辿り着いた「答＝提言」
を、如何に活かすか

「市井の建築家からの提案」
発想の転換 > 全館バリアフリー達成!!。
の使い方も、考えて行きたいと存じます。

どうする
名古屋城